

学校 教育 目標	たがいにひびき合う学校(学び合う・認め合う・生かし合う)	
	○互いに学び合い、主体的に問題を解決していく力を伸ばし、自分の生き方をたくましく切り開いていく子を育てます。	
	(知)	
	○様々な人とのかかわりのなかで、互いに認め合い、共に高め合う子を育てます。(徳)	
	○自分や他者の生命を尊び、自ら健やかな体をつくる子を育てます。(体)	
○地域の人やものとのかかわりを大切に、互いに認め合い共に生きる子を育てます。(公)		
○様々な人とのコミュニケーションを通じて、互いに生かし合う子を育てます。(開)		

学校 概要	創立 69 周年	学校長 山本加奈代	副校長 岡田大作	2 学期制	一般学級: 17	個別支援学級: 3
	児童生徒数: 618 人	主な関係校: 岩井原中学校 稲荷台小学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	岩井原中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
	岩井原中学校 稲荷台小学校 富士見台小学校	<p>○相手の気持ちや立場を理解できる児童、生徒</p> <p>○人に対する優しさ、思いやりの気持ちをもつ児童、生徒</p> <hr/> <p>・合同授業研究会を通して、授業改善や授業力向上、系統性の理解を図る。</p> <p>・合同研修会等を通して、児童・生徒の指導上の課題解決を目指す。</p> <p>・運動会やミュージックフェスタ等の行事を通して、児童と生徒の交流を促す。</p>
<協働して課題解決する力> <言語能力・表現力> <自分づくりに関する力>		

中期 取組 目標	○活力と魅力にあふれた、地域と共に子どもを育む学校を創ります。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・善しあしをわきまえ、社会のルールを守るなどの規範意識と礼儀を大切に育てていきます。</li> <li>・望ましい生活習慣を身に付け、進んで健康・体力づくりに取り組む姿勢を育てていきます。</li> <li>・「わかる」「楽しい」「集中できる」授業を展開し、問題解決的学習を重視しながら、思考力、判断力、表現力を高めていきます。</li> <li>・集団の一員としての居場所を確立し、他の人のために何かをしようとする姿勢を育てていきます。</li> <li>・様々な人とかかわる機会を増やし、視野を広げられるようにしていきます。</li> </ul>

重点取組分野	具体的取組
生きて はたらく 知	①児童一人ひとりが主体的な学びを継続していけるよう、問題解決的な学習に力を入れる。また、学ぶ楽しさを実感しながら学び合えるように、互いの考えを伝えたり、聞いたりする場の設定を工夫する。②児童の実態に合った学びを保証するため、教科担任制や小人数指導を積極的に取り入れる。
豊かな心	①学級や学年での様々な活動を基盤としながら、ペア活動の充実を図り、自他を大切にすることが大切で自己有用感を育成する。特にあいさつに力を入れ、自らあいさつするよさを実感できるようにする。②保護者や地域の方々の思いを知り、地域を意識した活動を展開し、自分たちも人の役に立つ喜びを味わえるようにする。
健やかな体	①体育科の学習に加え、短縄跳びを中心とした体力づくりなど、継続的な体力アップにつながる取組を実践し、体を動かす楽しさを実感できるようにする。②食育や保健の学習のよさを児童が理解し、生活に生かすとともに、将来にわたって健康や運動に関心をもつ基盤づくりをする。
児童生徒指導	①児童への理解と共感を大切に、日常の様子を観察や計画的なアンケート、横浜プログラムの実施により、児童の実態を把握し、適切な指導を行う。②児童の問題を担任一人が抱え込まず、学年や学校全体で情報共有し、適切で迅速な対応をしていく。学校カウンセラー、関係諸機関との連携を密にし、よりよい対応を行う。
特別支援教育	①児童一人ひとりの特性をとらえそのよさを認め、普通の授業から自己肯定感を高めるような指導を継続する。②児童理解や特別支援教育の研修を実施し、関係諸機関と連携を図り、保護者と共に担任、学年、児童支援専任、特別支援コーディネーター、管理職がチームとなって解決に向けて取り組む。
地域連携	①地域や保護者と連携しながら、より良い教育活動を展開し、学校教育目標や中期取組目標の実現のために、魅力ある学校づくりを行う。②学校だよりや HP、メール配信、授業参観や懇談会等の行事を通して情報発信を年間を通して行い、教育活動への理解と協力、支援をいただく。

<p>学校運営協議会</p>	<p>①各部署から選出、構成された学校運営協議会の開催を中心に、教育活動に対する多様な視点による意見をいただき、学校経営に柔軟に反映させていく。②「地域と共にある学校」をさらに充実させるために、地域と児童や教職員が、互いに顔の見える関係を構築し、かかわり合いを大切にする。</p>
<p>担当</p>	
<p>いじめへの対応</p>	<p>①年間を通して、相談活動やアンケートの実施を計画的に行い、児童一人ひとりの内面や心情の理解に努める。いじめの未然防止、迅速な状況確認、対応を常に心がける。情報共有を行い、児童支援専任を中心とした組織的な対応、外部関連機関との連携を図る。②日頃から教職員の危機管理意識向上を図る。</p>
<p>人材育成・組織運営 (働き方改革)</p>	<p>①働きやすい環境づくりを目指して、職員の考えや希望を取り入れながら職員室レイアウトを継続して進めていく。②人材育成については、全教職員が各々のキャリアステージをもとに設定目標を明確にして取り組む。メンター研では、ミドルリーダーが講師となり、スキルを身に付けたり悩みを相談したりできるようにする。</p>
<p>担当</p>	